



令和5年12月22日 第12号 文責 鈴木清吾

学院中だより

興誠学園教育理念「誠の精神」



興誠学園創立90周年記念のライトアップ 11/21（火）

正門から見える校舎壁面をライトアップしています。90周年を祝うとともに、100周年に向けて新しい興誠学園を築く第一歩を踏み出しました。中学校からは部活動中の男子バスケット部と吹奏楽部が点灯式に参加してくれました。

ライトアップ期間 11月21日～12月25日
16:30～20:00



幼稚園実習に行ってきました 11月20日（月）

浜松学院大学付属幼稚園との連携とご協力をいただき、1年生が一日実習をさせていただきました。総合的な学習の時間を使って、幼児の安全に注意した遊び方や折り紙や絵本の読み方などを学習して実習に臨みました。幼稚園では、園児に囲まれて満面の笑みで楽しそうに保育に取り組んでいる1年生を見て、体験から学ぶことはたくさんあると実感しました。



中学校全員で球技大会を実施しました

12月1日（金）球技大会を行いました。生徒会執行部が企画立案し、全校が縦割りの6グループに分かれてバレーボールとボウリングの2種目に挑戦しました。競技ルールが工夫されていたのはボウリングです。ボウリングのピンはペットボトル、投げるボールはバレーボール・ハンドボール・ピンポン玉・スティックのり他をルーレットで選んで投げました。勝負はまさに時の運、引いたボールで得点が大きく変わります。笑顔いっぱいの球技大会となりました。



ナイスアタック？
ナイスブロック？



引き当てたボールは・・・
テープの芯でした。



全員集合！
閉会式後の記念撮影です。

2学期終業式 12月22日（金）

行事の2学期、たよりを通じてたくさんの学校行事を紹介してきましたが、終業式をもって2学期が終わります。インフルエンザの流行で学年を閉鎖したり、行事で学級や学校の結束を高めたりしながら、あっという間に過ぎていったと感じています。今学期を振り返り、成果と課題を意識して新年の目標を立てていってほしいと思います。

【2学期に頑張ったこと】

僕が2学期頑張ったことは2つあります。

1つ目は、期末テストです。これまでの定期テストは目標を達成することができませんでした。今回のテストでは、これまでの反省を生かし、学習したところの振り返りや見直しを今までよりもたくさんできるように、計画を立てて取り組みました。その結果、今回の期末テストでは目標を達成することができたので、とても嬉しかったです。

2つ目は、部活動です。前回の浜松地区新人大会では優勝することができました。ですが、西部地区新人大会の時は決勝で負けてしまい、惜しくも準優勝という結果でした。その後の部活動では声を出し、より集中して練習に取り組むことができています。1月に行われる県新人大会では再び優勝ができるよう、これからも部活動に集中して頑張っていきたいです。

1年代表 伊藤 琉河

私が2学期に頑張ったことは2つあります。

1つ目は、勉強面です。私は数学があまり得意ではありません。だから、分からないところは繰り返し解いてみたり、先生に聞いてみたりと努力しました。その結果、定期テストでは満足のいく点数を取ることができました。今後も継続していきたいと思います。

2つ目は、部活動です。私たち女子バスケットボール部は、浜松地区大会で優勝することができましたが、西部地区大会では、浜松地区大会の決勝で勝った相手に負けてしまいました。この悔しさをバネに、1月に行われる県大会では良い結果を出せるよう、日々練習に頑張りたいです。

2年代表 新井 望生

私が2学期に頑張ったことは3つあります。

1つ目は勉強です。恥ずかしながら、私はテスト当日になってもテスト範囲全てを勉強することができていませんでした。主に暗記が苦手で理科や社会のテストが悪く、勉強をしてもテスト当日になると忘れてしまいます。半面、国語や数学は私が思っているよりも点数をあげることができました。3学期は苦手教科の克服ができるように努力していきたいと思います。

2つ目は人とのコミュニケーションの取り方です。私は人と喋るのがあまり得意ではなく、自分から話しかけることが多くありませんでした。ですが、人との接し方を意識していくうちに自然に人とコミュニケーションを取ることができるようになりました。中学校では他学年との交流が少なく減部に話すこともありませんが、これからも人とのコミュニケーションの取り方を意識しながら多くの人と交流を深めたいと思います。

3つ目は英語を覚えることです。3年生ではオーストラリアホームステイがありました。私は言いたいことがはっきりと言えるか、思いが本当に伝わるのかなど、心配していました。不安のまま迎えたホームステイでは、日常会話程度ではありますが、日々英語を習ったことを生かすことで、会話を成立させることができました。現地の人たちはフレンドリーでよく話しかけてくれます。話を聞き取るときは大事な部分だけでも聞き取ることができれば、会話は成立させられると分かりました。

来年には私たちは高校生になります。浜松学院中学校の名に恥じない高校生になるため、3学期も様々なことにチャレンジしたいと思います。

3年代表 大倉 有矢

保護者の皆様、これまで生徒へのご支援ありがとうございました。「3学期は次への0（ゼロ）学期」とも言われます。新年が生徒たちや皆様にとって、輝ける1年となることを祈念しています。よいお年をお迎えください。